



2022年11月14日

各位

会社名 株式会社エンバイオ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 西村実
(コード番号: 6092)
問合せ先 経理部長 長谷川忠玄
(TEL. 03-5297-7155)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2022年8月12日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期の連結業績予想値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年8月12日公表)	百万円 8,377	百万円 841	百万円 710	百万円 315	円 銭 47.44
今回修正予想(B)	8,418	1,317	1,287	716	107.91
増減額(B-A)	41	475	577	401	
増減率(%)	0.5	56.5	81.4	127.5	
(参考)前期連結実績 (2022年3月期)	8,987	1,229	1,197	654	98.45

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績が好調に推移したことを踏まえて、通期の連結業績予想を上記の通り修正いたしました。なお、利益が大幅に上回る見込みのため前期連結実績と比較して減収減益予想から減収増益予想となります。

(売上高)

ブラウンフィールド活用事業(以下、BF事業)において、引き続き当第2四半期連結累計期間につきましても、販売した全ての物件の売却価格が当初想定を大きく上回った影響により、売上高は前回予想を上回る見込みであります。一方、土壤汚染対策事業において、依然続く土地価格の高騰に加え、インフレによる建築資材等の高騰が相まって、顧客の開発計画が消滅する案件や翌期以降に先送りとなる案件が散見される等、足元の受注環境が悪化していることから、第3四半期以降の受注も鈍化すると見込んでおります。その結果、前回予想と比較してほぼ同水準の見込みであります。

(利益)

BF事業において、当第2四半期累計期間における物件の売却価格が当初の想定より大幅に上回ったことに加え、土壤汚染対策事業において、当初の想定を上回る高利益率の案件が複数完了したこと等により、利益が

前回予想を大幅に上回る見込みであります。また、為替相場の急激な円安進行により、第2四半期連結累計期間において、為替差益を173百万円計上いたしました。なお、第3四半期以降の為替レートにつきましては、1米ドル135円を想定しております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大における業績への影響は軽微であります。

(注) 上記に記載しました予測数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

以上